

腹腔鏡下子宮摘出手術を受けられる患者様へ 氏名() 主治医() 医師 説明担当看護師()

	準備	手術 1日前	当日 術前	当日 術後	手術 1日目	
達成目標	<p><持ち物> 直後パッド1セット ナプキン数個</p> <p>前開きのネグリジェ 又は和式の寝間着</p> <p>バスタオル2枚 (白に近い出来るだけ 無地の物)</p> <p>(腹帯1枚)</p> <p>お薬1日分 お薬手帳</p> <p>お茶や水のペットボトル それに使用出来る曲がる ストロー又は吸飲み</p>	手術の必要性がわかり、手術に同意している。		痛み止めの薬を使用して痛みを和らげることができる。 全身の状態が安定している。 創からの出血がない 皮下の出血が増えない。	全身の状態が安定している。 皮下の出血が増えない。 創からの出血が少ない。 尿の管が抜け尿が出る。 排ガスがある。 痛み止めの薬を使用して痛みを和らげることができる。	
薬剤		寝る前に下剤を内服します。			毎食後痛み止めの薬を内服します。	
点滴			朝9時ごろより点滴が始まります。 手術の翌朝まで点滴は続きます。		痛みに応じて筋肉注射・坐薬などの 痛み止めを使います。	朝と夕に点滴があります。
処置		陰部の毛を剃ります。 お臍のそうじをします。 	朝に浣腸を行います。 便が出たかお知らせください。			回診で全身の状態や創部の診察をします。
検査		超音波検査・内診を行います。				採血があります
安静度		手術当日術前まで病院内は自由です。			ベッド上で横になったまま安静に過ごします。 (寝返りは可能です。) 朝6時まで両足にフットポンプが付きます。	坐位、ベッド横立位まで可 (医師の指示でトイレ歩行可になります。)
食事/水分		低残渣食(腸に便として残りにくい食事)です。 絶食の時間を別紙にてお知らせいたします。	絶飲食です。			朝より飲水が可能になります。 昼より五分粥の食事が開始となります。
留置物			朝9時ごろの点滴の開始時に、点滴の針を入 れます。(手は動かさず)		膀胱留置カテーテル(尿の管です)が入っています。 点滴の針が入っています。	膀胱留置カテーテルを抜きます。 (回診時許可があった場合)
清潔		シャワーに入っただけです。				お体を拭きます。
観察		体重・血圧の測定・検温を行います。		出棟時前の検温を行います。	心電図モニター・SpO2モニター (酸素の状態を測るもの)をつけます。 創の状態や全身の状態を観察します。	排ガス・排便の有無を確認します。
服薬指導		薬剤師より服薬指導があります。				
教育・説明		看護師より、入院生活についての説明があります。	手術当日は、手術予定1時間前にご家族の来院をお願いします。 術後、医師よりご家族に手術の説明があります。ご家族の方は必ず病棟内でお待ちください。			
書類	同意書を提出してください。 入院治療計画書をお渡します。					

上記の内容は個々の状態に応じて内容が異なります。ご了承ください。

尚、ご不明な点がありましたら看護師にお尋ねください。

入れ歯、ジェルネイル、カツラ、アクセサリは検査や処置時は取り外しをお願いします。

また、入院中のお化粧品もお控えください。(顔色観察のため)

	手術 2日目	手術 3日目	手術 4日後	手術 5日後(退院)
達成目標	全身の状態が安定している。 皮下の出血が増えない。 創からの出血が少ない。 尿の管が抜け尿が出る。 排ガスがある。 痛み止めの薬を使用して痛みを和らげることができる。	痛み止めの薬を使用して痛みを和らげることができる。 自分のことが自分で行うことができる。 シャワー浴ができる。 排便がある。	血液検査で異常がない。 退院後の生活が分かる。 創の治りが良好である。	創の状態が良好に保てている。 血腫がない。
薬剤	毎食後痛み止めの薬を内服します。			
点滴				
処置				退院診察・創部ケアを行います。
検査			採血と尿検査があります。  検尿カップ	超音波検査・内診があります。
安静度	歩行可になります。	病棟内フリー		
食事/水分	全粥になります。	普通食になります。		
留置物	膀胱留置カテーテルを抜きます。			
清潔	シャワーが可能となります。 			
観察				
服薬指導				
教育・説明			退院指導を行います。	外来予約票をお渡しします。
書類				